

講 義 要 項

授業科目		治療援助技術Ⅱ		担当者	吉満 梨奈 向吉 喜美代
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前／後
	1 単位	15 時間	講義・DVD・シミュレーション演習		2年次・後期
授 業 目 標					
創傷管理技術や呼吸・循環について理解し、援助技術を習得できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 創傷管理技術	1. 創傷管理について理解し必要な援助技術を習得できる。	1. 創傷管理の基礎知識 2. 創傷処置 1) 包帯法 3. 褥瘡予防	4		講義 DVD シミュレーション演習
2. 呼吸・循環を整える技術	1. 酸素療法・排痰ケア・胸腔ドレナージ・吸入・人工呼吸療法の目的と方法を理解し、援助技術を習得できる。 2. 体温調節機能や末梢循環促進ケアの目的と方法を理解し、援助技術を習得できる。	1. 酸素療法 1) 中央配管式による方法 2) 酸素ボンベによる方法 2. 排痰ケア 1) 排痰ケアの基礎知識 2) 体位ドレナージ 3) 咳嗽介助、ハフティング 4) 吸引 (口腔内吸引、鼻腔内吸引、気管内吸引) 3. 胸腔ドレナージ 4. 吸入 5. 人工呼吸療法 6. 体温管理の技術 1) 発熱時 2) うつ熱時 3) 低体温時 7. 末梢循環促進ケア	10		講義 DVD シミュレーション演習
		修得試験	1	1	
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(3), 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(4)、臨床看護総論, 医学書院. 3. 成人看護技術, 南江堂. 4. 看護技術プラクティス第3版, 学研メディカル秀潤社. 5. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術, 医学書院.				
評価	1. 単位修得試験、課題レポート、演習、出席状況により評価する。				
備考	実務経験：看護師・助産師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				